

組織目標管理シート

| | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|--------------------------|----------------|-----|-----------|
| 年度 | 令和5年度 | | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | ・都心エリアの平均地価変動率 | 作成日 | 令和5年4月27日 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | 政策監グループ | | 評価日 | |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|---------------------|---|-------------------|----------|-----------------------|---|--------|-------|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 都心のまちづくり「にいがた2km」の取組を組織横断で効果的に推進するとともに、市民の皆様と一体となって進めていくため、積極的に情報を発信していきます。 | 政策14-2-① | 公民連携による情報発信の取組件数 | 65件以上 (R4年64件) | | 「にいがた2km」の魅力発信事業 | 市民・団体・企業・学校等と連携して「にいがた2km」の魅力や取組を発信していきます。 (例:「にいがた2km」ロゴマークの活用、各種イベント等の共催・後援、学校での講演等) | | |
| | | | 特設HP「ニイガタニキロニュース」の閲覧回数/月 | 10,000回/月 | | 「にいがた2km」の魅力発信事業 | 特設HP「ニイガタニキロニュース」を通じて、「にいがた2km」の魅力や取組を積極的に発信していきます。 | | |
| 2 | 都心エリアの活力と8区の持つ魅力を結び付け、発展させていくことで、「地域外から稼ぎ、地域内でも経済が循環する取組」を推進します。 | 政策14-2-① | 「にいがた2km×8区連携促進」に関する説明会の開催数 | 10回以上 | | にいがた2km×8区連携の促進 | 関係団体や企業を対象とした「にいがた2km×8区連携促進」説明会の開催や、関係部区の職員によるプロジェクト・チームの活動を通じて、都心と8区の新たな連携方策の創造に取り組みます。 | | |
| | | | 「にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金の事業採択数 | 4事業以上 | | にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金 | 新設した「にいがた2km魅力創造・8区連携支援補助金」の活用により、にいがた2kmエリアにおける新たな魅力やビジネスの創出、8区との連携促進を図ります。 | | |
| 3 | 「居心地がよく、市民が主役になるまちづくり」を具現化していくため、公共空間を活用した社会実験の実施や、エリアプラットフォーム等の多様な主体が連携する取組を支援していきます。 | 政策14-2-① 行財3-2-③ | 駅・万代周辺地区周辺エリアプラットフォームメンバーが主体となったワーキンググループの設置数 | 3グループ以上 | | 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン推進事業 | 「新潟駅万代地区周辺将来ビジョン」の具現化に向け、令和5年3月に設立したエリアプラットフォームの活動を支援していきます。 | | |
| | | | 道路空間を活用する社会実験の実施 | 東大通で社会実験を実施 | | 東大通“人中心の空間づくり”推進事業 | 本市都心軸である東大通において、人中心のウォーカブルな空間づくりに向けた社会実験を公民連携して実施します。 | | |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|----------|--------------------------|---------------|-----|---------|
| 年度 | 令和5年度 | | | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | 都心エリアの平均地価変動率 | 作成日 | R5.5.16 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | まちづくり推進課 | | | 評価日 | |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|---|------------------|--|---|----------|-------------------------------|--|--------|-------|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 都市再生緊急整備地域の規制緩和などを活用し、都心エリアの再開発に合わせた防災機能強化、脱炭素化、緑化、賑わい創出などを進めます。 | 政策14-2-② | 都市再生緊急整備地域の民間都市開発事業などの新規着工件数(累計) | 6件 (令和4年度:3件) | | 市街地再開発事業等の促進 | 都市再生緊急整備地域の規制緩和等を活用し、民間開発(西堀通5番町地区、新潟駅南口西地区等)を促進します。 | | |
| 2 | 鳥屋野潟南部地区における住居・交流拡大ゾーンの開発促進など、複合拠点としての整備を促進します。 | 政策14-3-① | 鳥屋野潟南部地区における住居・交流拡大ゾーンの開発促進に向けた関係者協議・調整の実施 | 住居・交流拡大ゾーンの開発に伴う法手続き、周辺交通及び幹線道路整備に向けた協議・調整の実施 | | 鳥屋野潟南部地区の総合的な整備 | 都心の機能を補完する鳥屋野潟南部地区において、交流・にぎわいなどの複合拠点の形成に向け、幹線道路(鳥屋野潟南部東西線)の整備を推進します。 | | |
| 3 | 都心エリアにおいて、水辺空間の魅力創出、公共空間の利活用など、公民連携による取組を進めることで、魅力と価値の向上につなげます。 | 政策14-2-① | ミズベリング来客数 | 前年度以上 (令和4年度:37,000人) | | 都心エリア水辺空間にぎわい創出事業 | 民間事業者と協働し、商業利用を核とした賑わい空間の創出や多様なイベント開催等により、地域連携・活性化への寄与も含め、水辺空間の利活用促進として、「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」等の取組を推進します。 | | |
| 4 | 都心エリアにおいて、良好な景観形成、緑化の推進、水辺空間の魅力創出、公共空間の利活用など、公民連携による取組を進めることで、魅力と価値の向上につなげます。 | 政策14-2-① | ・景観条例及び屋外広告物条例の改正 ・まちなみ整備ならぬ協定促進事業の実施 | 条例改正:2 協定促進事業:1件 | | ・景観形成推進事業 ・まちなみ整備ならぬ協定促進事業 | 信濃川本川大橋下流沿岸地区における基準を作成し景観条例改正を行います。 新潟駅前広場の屋外広告物禁止地域範囲の追加及び屋外広告物条例の改正を行います。 古町花街地区において、歴史的な建築物の外観改修等について助成を行い、情緒や風情のある街並みの保存に取り組みます。 | | |
| 5 | 適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。 | 行財1-1-① | 課内研修開催回数(回) | 4回 | | コンプライアンスの推進 | 職員研修などにより、コンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度に基づいた事務ミスの事例を共有することで、コンプライアンスの推進に取り組みます。 | | |

組織目標管理シート

| | | | | | |
|--------|-------|------------------------------|-----------------------------|-----|--------|
| 年度 | 令和5年度 | (参考) 関連する総合計画に おける政策指標 | 自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合 | 作成日 | R5.4.1 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | 都市交通政策課 | 評価日 | |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|------------------|-------------------------------|------------------------------------|------|---------------------------------------|---|----|--------|-------|
| | | | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | 概要 | | | |
| 1 | 各区と都心方面を結ぶ公共交通サービスの向上や交通結節点の強化など、都心アクセスの強化を図るとともに、駅・港・空港などの広域交通拠点と二次交通を連携させた主要エリア間のアクセス強化・回遊性の向上に取り組みます。 | 政策14-1-② | 来訪者の路線バス利用者数(全国相互利用ICカード利用者数) | 391万人 | | バス交通改善事業 | 運転手不足や、バス利用者の減少などの厳しい状況のなか、バスネットワークを維持するために、官民連携により、バス待ち環境の充実など改善の取組を進めることで利用促進を図ります。 | | | |
| 2 | 都心部の移動円滑化に向けた「まちなかの賑わい」を創出する交通戦略を展開します。 | | にいがた2kmシェアサイクル利用回転率(年度平均) | 0.8回転/日 | | にいがた2kmシェアサイクル | まちなかの回遊性向上や公共交通の補完等を目的に、運営事業者と協働でシェアサイクルを運用します。 | | | |
| 3 | 生活交通の確保維持・強化に向けた「暮らしを支える移動手段(マイカー以外)を地域で育む交通戦略を展開します。 | | 区バス・住民バス・エリアバス×タクの年間利用者数 | 472,000人 | | 区バス運行事業 住民バス運行費補助金 エリアバス×タク運行事業 | 区毎で検討したバス路線や地域住民が主体となって運行するバス路線及びデマンド型の中型車両と小型タクシーを組み合わせた公共交通の運行及び支援を行います。 | | | |
| 4 | 市民や関係者による協働により「みんなで築き上げる」交通戦略を展開します。 | | 「にいがた都市交通戦略プラン」の進行管理 | ・R4年度の取り組み評価、公表 ・地域公共交通計画の策定、公表 | | 地域公共交通計画の策定 | 本市のまちづくりと連携し、「地域にとっての望ましい地域旅客サービスの姿」を明らかにするマスタープランを、市民並びに関係機関と協働で策定します。 | | | |
| 5 | 適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。 | 行財1-1-① | 課内研修開催研修(回) | 4回 | | コンプライアンスの徹底、事務ミス等の発生防止に向けた課内研修の開催 | 職員研修などにより、コンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度に基づいた事務ミスの事例の共有 | | | |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|-------|--------------------------|---|-----|----------|
| 年度 | 令和5年度 | | | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | 港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合 | 作成日 | 2023/4/1 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | 港湾空港課 | | | 評価日 | |

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|---------------------|-----------------------|------------------|----------|--|---|--------|-------|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 新潟港における耐震性やコンテナターミナル機能の向上など、港湾機能強化に向け整備を促進するとともに、クルーズ船誘致やポートセールスを行い、新潟港の利用を活性化します。 | 政策14-3-① 行財3-2-④ | 新潟港の輸出コンテナ貨物(実入り)取扱量 | 前年比100%以上 | | みなと拠点化・活性化推進事業 | ・新潟港の利用活性化を図るため、コンテナ貨物の輸出支援、ポートセールス、港湾施設の整備促進等に取り組まします。 ・前年実績:34,808TEU(20フィートコンテナ換算) | | |
| 2 | 万代島地区において、人中心のウォーカブルな空間形成に資する環境の整備や良好な景観形成、緑化の推進、水辺空間の魅力創出、公共空間の利活用、デジタル技術の活用など、公民連携による取組を進めることで、魅力と価値の向上につなげます。 | 政策14-2-① | 万代島多目的広場の専用利用件数及び利用者数 | 前年度比100%以上 | | 万代島にぎわい空間の創造事業(多目的広場関係事業) | ・万代島多目的広場(通称:大かま)の利用促進に向けた取組を通じて、万代島地区のにぎわいを創出します。 ・前年度の専用利用件数101件、利用者数61,057人 | | |
| 3 | 万代島地区において、人中心のウォーカブルな空間形成に資する環境の整備や良好な景観形成、緑化の推進、水辺空間の魅力創出、公共空間の利活用、デジタル技術の活用など、公民連携による取組を進めることで、魅力と価値の向上につなげます。 | 政策14-2-① | 行政・民間等関係者との連携強化 | 将来ビジョンの推進を継続 | | 万代島にぎわい空間の創造事業(将来ビジョン) | 行政や民間が一体となり、万代島地区のさらなるにぎわい創出と活性化に向けて、関係者と「万代島地区将来ビジョン」で描いた将来像やその実現に向けた方向性を共有しながら、にぎわい創出につながる取組を推進します。 | | |
| 4 | 新潟空港周辺地区のまちづくりや環境対策について周辺自治会や県と協議し、地域と空港との共生を図ります。 | 行財3-2-④ | まちづくり協議会の開催 | 協議会開催3回 | | 新潟空港周辺まちづくり協議会の開催 | 地元自治会代表、県、市で構成するまちづくり協議会を開催し、空港周辺地区の環境対策や共生活動について協議します。 | | |
| 5 | 新潟空港の耐災害性を強化するとともに、空港運営の最適化、駅や港などと空港をつなぐ利便性の高いアクセスの検討、航空ネットワークの充実・強化により活性化を図ります。 | 政策14-3-① 行財3-2-④ | 検討会議への参画 | 新潟空港将来ビジョンの検討を継続 | | ・新潟空港将来ビジョンの検討協議会等への参画 ・新潟空港整備事業費負担金 ・新潟空港周辺道路改善事業 | 行政、経済界、交通事業者等で構成する「新潟空港将来ビジョン」検討協議会に参画し、将来像やその実現に向けた方向性を協議します。 | | |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|-------|------------------------------|----------------------------------|-----|----------|
| 年度 | 令和5年度 | | | (参考) 関連する総合計画に おける政策指標 | 行政サービスのデジタル化により、利便性が向上したと思う市民の割合 | 作成日 | 令和5年4月1日 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | 技術管理課 | | | 評価日 | |

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|---|------------------|-------------------------|--------|----------|----------------|---|--------|-------|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 技術力向上を図るため、効率的・効果的な研修を開催するとともに、次世代に対応した人材の育成を推進します。 | 行財1-4-① | 理解度割合 | 80% | | 職員の能力開発、キャリア育成 | 研修を受講した職員を対象に行う研修評価アンケートの結果などから内容の見直しを行うとともに、Web会議システム等を活用して、研修理解度割合80%以上を目指します。 | | |
| 2 | 公共工事の品質確保のため、総合評価入札方式を実施します。 | | 実施割合 | 60% | | 総合評価入札方式の改善・実施 | 原則として当初設計金額5,000万円以上及び周辺環境、安全性などの配慮や技術力を要する工事を対象とします。 | | |
| 3 | 「工事成績評定」の電子化を実施し、効率的な市民サービスの向上を図ります。 | 行財1-2-① | 経営資源の効果的配分に向けた事業の評価、見直し | 見直し・改善 | | 事業のあり方、やり方の見直し | 「工事成績評定」書面の写しの公表を閲覧による方法から、電子化によって、ホームページに掲載する方法に改善し、事務の効率化と市民の満足度の向上に努めます。 | | |
| 4 | 検査員としての資質の向上を図ります。 | 行財1-4-① | 専門検査員同士の同席検査の実施回数 | 14回 | | 職員の能力開発、キャリア育成 | 所属職員が検査時における評価の偏向を解消させるため、専門検査員同士の同席検査を実施するなど情報共有に努めます。 | | |
| 5 | 公共工事のさらなる品質の維持向上に努めます。 | | 工事成績評定の平均点 | 80点以上 | | 各種事例のホームページ掲載 | 「検査の指摘・指導事項」、「公共工事における事故事例」および「創意工夫など事例」を適宜更新及びホームページへ掲載することで、工事成績評定点が80点未満の工事の縮減に努めます。 | | |

組織目標管理シート

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------|------------|--------------------------|---|-----|--------|
| 年度 | 令和5年度 | | | (参考) 関連する総合計画における政策指標 | ・港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が依然と比べ向上していると思う市民の割合 | 作成日 | R5.4.1 |
| 組織名(部) | 都市政策部 | 組織名 (準部・課・機関名) | 新潟駅周辺整備事務所 | | | 評価日 | |

| No. | 組織目標 | 指標 | | | 主な取組(事業) | | 評価 | 目標達成状況 | 今後の方針 |
|-----|--|------------------|---|---|----------|--|--|--------|-------|
| | | 総合計画(実施計画)上の位置づけ | 取組指標 | R5目標 | R5結果 | 取組名称(事業名) | | | |
| 1 | 新潟駅周辺整備事業の情報発信の強化に努めます。 | 政策14-3-① | <ul style="list-style-type: none"> ・工事仮囲い等を活用した掲示箇所数 ・新潟駅周辺整備事業PR展の開催回数 | <ul style="list-style-type: none"> ・8箇所 ・4回 | | 新潟駅周辺整備事業のPR | <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用など多様な情報媒体による効果的な情報発信を行います。 ・各種掲示スペースを活用したPRを行います。 | | |
| 2 | 新潟駅周辺における民間投資の誘発などストック効果の発現に努めます。 | 政策14-3-① | <ul style="list-style-type: none"> ・新潟駅交通ターミナル(バスタ新潟)の上層部利用にかかる方針(素案)作成 ・駅南口広場関連の施設再編にかかる素案作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関協議、素案作成 ・検討会等の開催、素案作成 | | <ul style="list-style-type: none"> ・新潟駅交通ターミナル(バスタ新潟)整備 ・新潟駅南口広場関連整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協議や新潟駅周辺広域交通事業計画検討会等による関係者の意見を聞きながら、バスタ新潟上層部の利活用や、新潟駅南口広場周辺の施設再編を検討します。 | | |
| 3 | 新潟駅周辺における、駅前広場整備や幹線・生活道路整備などの主要事業を着実に進めます。 | 政策14-3-① | 幹線道路の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅東線整備にかかるJR協議の実施 ・東こ線橋撤去概略設計の着手 | | 幹線道路の整備 | JR仮線撤去の進捗との調整を図りながら幹線道路の整備を推進します。 | | |
| | | | 区画道路(生活道路)の整備 | 区画道路4号(天神尾)、5号(米山)の改良整備完了 | | 区画道路(生活道路)の整備推進 | 高架化した鉄道下を横断する生活道路の整備を推進します。 | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・万代広場の整備 ・高架下交通広場の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・万代広場東側バス停部分の整備完了 ・高架下交通広場の整備完了 | 駅前広場の整備 | 万代広場・高架下交通広場の整備を推進します。 | | | |
| 4 | 職員の専門知識とプレゼンテーション能力を高めます。 | 行財1-4-① | <ul style="list-style-type: none"> ・所内研修会、研修・出張報告会等の開催件数 | <ul style="list-style-type: none"> ・4回 | | 職員の能力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の受講、現場研修会等の講師、出張等により職員の能力向上に取り組みます。 ・所内報告会等により、職員全体で共有します。 | | |